

備後

教区報

第 168

2019(令和元)年10月31日

結ぶ絆から、広がるご縁へ
-From tying bonds to great encounters-

CONTENTS

- ◇公聴会—ご消息披露総局巡回
- ◇視点—「貧困の克服にむけて」
ABA(アジア教区連合)の取り組み
- ◇ルポー蒼明学院中等部設立
- ◇まことの保育全国大会が備後にて開催
- ◇活動情報&インフォメーション



▲山下義円総務より『ご消息』披露



▲まことの保育第32回全国保育大会

公聴会

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要についてのご消息披露総局巡回 立教開宗800年

去る8月21日(水)、本願寺備後教堂にて親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要についてのご消息披露総局巡回へ2019(令和元)年度備後教区公聴会が開催され、教区内の僧侶寺族、門信徒52名が出席した。

第1部の御消息披露式典では、宗派より出向の山下義円総務よりご消息の披露及び披露に際しての趣旨演達が行われた。その後、藤本唯信特命布教講師より記念布教として、この度のご消息についてご法話をいただいた。

第2部の公聴会では、総局より報告事項として、

- ① 「子どもたちの笑顔のために募金」のお願いについて
- ② 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の意義について
- ③ 「得度式規程」「教師規程」「布教使課程設置規程」等の制定について

以上の3点について、説明があった。

その後の協議では、

- ① 賦課基準の見直しについて【2020(令和2)年4月1日実施】
 - ② 僧侶育成体系プロジェクトについて(住職・坊守)
- 以上の2点について、説明があった後、全体での意見聴取が行われた。宗門財政基盤に対する質問や、協議事項2点に関する意見提言が参加者よりあった。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて

周知の通り、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、2023(令和5)年5期30日間でお勤めされる。この度の公聴会でも、法要に向けた趣意書の策定が報告され、さらに法要の在り方や、関連諸行事を考え、企画するうえからの課題として、主要な点を慶讃法要の趣意付帯事



項として掲げられた。(趣意書・付帯事項については、宗報9月号掲載)



規程」が發布され、「得度式規程」は2020(令和2)年4月、「教師規程」及び「布教使過程設置規程」は2021(令和3)年4月より施行される。

次年度より施行される「得度式規程」については、得度修礼・得度式までのシステムが大きく変更される。得度修礼及び得度式に臨む前に、得度講習会を必ず受講し、得度講習会受講後に実施される得度考査の合格判定を経て、はじめて得度修礼・得度式に臨むことができる。得度講習会及び得度考査については、関係学校・仏教学院の在学・卒業等により一部免除の対象となる。その他新システム移行に伴う経過措置も含まれている。

「教師規程」「布教使過程設置規程」について

「得度式規程」「教師規程」「布教使課程設置規程」等の制定

変わる僧侶育成体系

更される。

ても、現行システムから大きく変

この度、2019(平成31)年2月22日宗則第1号「得度式規程」、宗則第2号「教師規程」及び宗則第3号「布教使過程設置

※詳しい変更内容等については、宗報7月号(得度式規程)、8月号(教師規程)、9月号(布教使過程設置規程)を参照。

「得度式規定」の概要

宗報7月号要約

・「得度講習会」について

現在、得度習礼を受けるために受講が義務化されている「得度習礼講習会」に替わり、新たに得度考査に向けた学習支援カリキュラムを加え、名称を「得度講習会」として、開催し、2020年4月以降、考査を受ける前に必ず受講しなければならないこととなりました。講習内容は、

- ① 宗制の大意
 - ② 仏教の基礎知識
 - ③ 法式規範の基礎知識
 - ④ 勤式作法の基礎。
- 受講し修了した方には、終了証を交付します。有効期限は3年間です。

※講習会の免除

- ① 宗門に関係する大学及び高等学校のうち、新たに総局が認定した学校の卒業生で、当該学校が講習会と同等以上の教科課程を修得したことを証明する方。
- ② 仏教学院のうち、新たに総局が認定した仏教学院を卒業した方、及び在学中の方で、仏

教学院が講習会と同等以上の教科課程を修得したことを証明する方。

※新たに総局が認定した大学及び高等学校であっても、在学生にはこの規定は適用しません。2020(令和2)年度以降の入学生で、在学中に得度受式を希望される場合は、当該教育機関において教科課程の履修途中であるため、講習会を受講しなければなりません。

※新たに総局が認定する教育機関(大学・高等学校・仏教学院)については、今後改めて総局が精査し、僧侶養成に資する学習環境が整っている教育機関について宗達で認定いたします。



視点

「貧困の克服に向けて」の取り組み③

「アジアはここらでむすばれる」を標榜して

今期より宗門全体として取り組む実践目標「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace「一子どもたちを育むために」を備後教区重点プロジェクトとして取り組むこととなった。教区内において支援活動が続いている団体をシリーズとして紹介する。今回は、宗派を超えて様々な活動をされているABA(Aジア仏教徒協会)の取り組みを、藤井義英理事長に寄稿いただいた。

追悼慰霊をきっかけに設立

「アジアはここらでむすばれる」Keep in Touch hearts with Asia!」を標榜するアジア仏教徒協会(ASIA BUDDHIST ASSOCIATION)以下略称「ABA」事務局・福岡市東区香住ヶ丘五―九―三八

妙法寺内は、ミャンマー連邦共和国(旧ビルマ)での戦争犠牲者の追悼慰霊を縁として活動が始まりました。一九八二年、太平洋戦争の激戦地・日本兵およそ十九万人が戦死したという旧ビルマへ戦没者慰霊法要団を派遣。遺族らとともに、戦争犠牲者の声なき声に耳を傾け、戦後初の日本とビルマ・ミャンマー両国の仏教徒による合同慰霊法要が実現しました。その後、戦友や遺族らから慰霊と平和への誓いを新たにする道場「日本ビルマ世界平和ナガヨンパコダ」を激戦地・メティーラに建立することとなりました。一九八三年十一月十一日にアジア仏教徒協会が設立され、初代会長には元厚生大臣の故・小沢辰男先生が就任されました。

仏教徒としての「いのち」の共有

パゴダ建立には十二年の歳月を要して一九九五年に完成します

が、この十二年の時間こそ「ABA」の今日の活動の礎となったのです。この十二年間の学びのキーワードは、慈しみに支えられた仏教徒としての「いのち」の共有であります。当時は政情の混乱により食料の供給バランスが崩れ、貧困家庭の母子の健康悪化が激増。国連の統計では当時の乳幼児の死亡率は百人中三十人という状態で支援が求められるようになりました。そこで「ABA」では慰霊事業に加え医薬品などの救済物資の支援、「AMDA(旧称・アジア医師連絡協議会)」、や水の浄化を手がけた「MISの会」というNGOとの連携で九五年から五年間にわたって支援活動を展開しました。内容は環境、医療、教育支援が中心。浄水施設の設置です。

医療、環境、教育の支援活動

医療面では、ABAのミャンマー現地理事である吉岡秀人医師

の活動を支援。吉岡医師はこうしたミャンマーでの体験をもとに二〇〇四年、国際医療ボランティア組織としてNPO法人「ジャパン・ハート」(現在は最高顧問)を設立。翌年には全体重一〇キナのに、首の腫瘍が二キあるという三歳のチョー・スー・ウイン君を日本の岡山医療センターの協力で手術。「ここにいのちあるかぎり」と題してテレビ東京で放映され感動を呼びました。「ひとり一つのいのち」にこだわり、自身の長年の海外医療の経験をもとに、医療



▲ミャンマーの寺小屋を訪れ文具を手渡す本派の末本弘然・ABA顧問



▲ミャンマーの寺小屋の視察風景

東アジアのグローバルリーダーの育成目指し

活動のさらなる質の向上を目指してミャンマーはもとより、カンボジアなどにも活動の場を広げている吉岡医師を支援しています。

教育では九七年から、これまでに寺小屋学校を設立。二〇〇一年までに五校開校しましたが、今

も運営されているのは「永平寺総合小学校」(約七〇〇名)だけです。これまでの活動の集約として「次代を担う子どもたちのために」と題して「ASIA FUND (ミャンマー子ども基金)」を設立した。こうした活動が評価されて、二〇一一年、第三五回正力松太郎賞「奨励賞」を、二〇一四年には第三八回同賞「本賞」を受賞しました。

韓国との青少年交流も

さらに〇四年からは韓国との青少年との交流へと広げました。大韓仏教曹溪宗の外郭団体社団法人「パラミータ青少年協会」と東アジアの未来を担うグローバルリーダーの育成を目ざし仏教を通じて「日韓青少年交流」のプロジェクトを立ち上げました。隔年で互いの国に青少年を派遣

日韓青少年交流未来プロジェクト vol.6

—Paramita



ABA

韓国大韓仏教曹溪宗・パラミータ青少年協会(政府公認)とアジア仏教徒協会(本部・福岡市)は2002年に開催されたワールドカップの日韓共同開催期に青少年交流が始まりました。その後、両政府が推し進めた日韓友情年(2004年)などもステップとなり、今年で通算6回目の相互交流となります。仏教の枠にとどまらず、「アジアから世界のグローバルリーダーを育てよう!」をテーマに幅広い活動を展開しています。

8月4日~8日

会場: 福岡県太宰府市・朝倉郡 佐賀県唐津市 妙法寺 長崎県長崎市 光源寺 他



ホストファミリー募集 (ホームステイ) 8月5日~7日(2泊3日) 佐賀県唐津市より1時間半圏内

交流行事への参加者募集

- 8月5日唐津市・妙法寺 「茶道体験・日本文化体験」
- 8月6日唐津市・妙法寺 「平和について考える討論会」
- 8月7日長崎市・光源寺 平和公園 原爆資料館 「語り部による被爆体験講話、平和公園・原爆資料館見学」



妙法寺へのアクセス 佐賀県唐津市厳木町岩屋530-4・JR唐津線・岩屋駅から徒歩15分 TEL0955-51-5020 FAX0955-51-5018
光源寺へのアクセス 長崎県長崎市伊良林1-4-4・市電・新大町電停下車徒歩7分 TEL095-823-5863 FAX095-823-7231

お問い合わせ先

ABA日韓青少年交流支援室 担当 藤川 0955-51-5020 担当 宮原 090-8626-5616

し、テンプルスティやホームステイを通じて、互いの伝統文化を学び合い、相互交流を深めています。今年は八月一日から五日までソウルを中心に行われますが、宗門校である東九州龍谷高等学校の宗教部の聖歌隊(ナムナムガールズ)も参加して交流します。「ABA」は超宗派という厳しい側面を抱えています。二〇一一年から新体制を発足さ

せ、新たに「安心と連帯に満ちた社会創造のために」をコンセプトとして活動を展開。賛同・協力者も曹洞宗、天台宗、正法事門法華宗、浄土宗、真言宗各派、臨済宗各派、浄土真宗などへと広がりを見せています。(報告者IIアジア仏教徒協会理事 長・比婆組西教寺住職)

ルポ

somei 蒼明学院中等部2020年春開校

“中学校だけ私学という新しい選択を”

開校を予定しているのは、笠岡市にある浄土真宗本願寺派の宗門校である岡山龍谷高校を運営する

学校法人淳和学園（笠岡市笠岡）は、岡山龍谷高校の校舎を活用し、2020年4月より、蒼明学院中等部を開校する。

“中学校だけ私学という新しい選択を！” この聞きなれないフレーズを耳にした教育関係者の誰しもが、驚きと共に、興味を引かれたという。ありそうでなかった新たな教育の形。全国でも類を見ない新しい発想の中学校となる。言語、哲学、サイエンス、デザインを重視した最先端の授業メソッドで何事にも好奇心をもち、色々なアプローチを繰り返しながら3年間で自分を語ることでできる生徒を育てていく。

（文責・教区報専門委）

園専務理事の中村好孝先生にお話を聞いた。

委員 蒼明学院中等部の教育方針を教えてください。

先生 蒼明学院の目指す教育は、みなさん一人ひとりが「自分の哲学」をもち、常に新しいことに

「挑戦」していくこととです。情報と物が溢れ、私たちは便利で快適な生活を送ることができるようになり、ク

リックひとつで世界中から買える物もできる時代です。しかし、それと同時に私たちは何かを失い続けていま

す。それは、「疑問を持つこと」と「勇

気」と「行動への責任」です。ある本で見かけた言葉が強烈にいつも頭の中に残っています。

「常識とは95%の大衆意識が作り出した幻想である」

私たちの学校は隠された5%の本質を見つけていくことの出来る眼を育てます。そして失敗を大いに奨励し、その先の挑戦を称賛する風土を生み出します。みなさんの「YES！」から始まる世界を冒険する旅。何事にも好奇心をもち、色々なアプローチを繰り返しながら3年間で自分を語るこ





できる人へ。夢を夢で終わらせない人へ。蒼明学院中等部はまさに「未来の中学校」です。

この教育を具現化していくのが、言語・哲学・科学・デザインを重視した最先端の教育メソッドである蒼明イノベーションプログラム(SIP)です。

言語II徹底した言語トレーニング

ング

哲学II普遍性や本質を考える

力を

科学IIサイエンス系コンテンツ

トへ全員参加

デザインII 21世紀を切り開く2つの思考方法を習得

この4つを教育の柱とし、世界基準の教育を進めていきます。

また、中等部の校舎には、教室とは別に自由に活発な学びを実現する空間、全国初の専用ラボを完備しています。主に午後からの合

教科の探究活動や美術・技術のデザイン、各ワークショップを行うこととなります。生徒の熱意は、この自由な空間の中で活発に動き

回り、アイデアを呼び起こしていきます。時には先生たちと対等に議論し、時にはゲスト講師を交えてアイデアを具体化する作業をし、そして時には他国の友人と意見交換を交わします。本校の教育活動を象徴する場所です。

委員 これからの教育をどのように考えていますか？

先生 少子化が加速する中、一昔前と現在では、教育現場を取り巻く環境にも大きな変化が起こっている。それぞれの学校が知

恵を絞り、特色を出し合う。生き残りをかけた学校改革は、私立に限らず公立の学校にまで及ぶ。大乘仏教の精神、親鸞聖人のみ教えを建学の精神とする宗門校も例外ではない。その様な風潮の中、淳和学園は、全国でも類を見ない新しい発想の中学校を開校する。

取材をして感じたことは、生き残りをかけるといふ学校本位の発想とは真逆であった。目指すは、学生ファーストの教育。未来を見据えて、新たな時代を切り開いていける人材の育成を、充実した教育内容、環境の中、中学校生活の3年間で育んでいく。蒼明学院中等部の教育に、今後注目したい。

問合せ先

蒼明学院中等部
(認可申請中)

TEL0865-63-2525

<https://somei.ed.jp/>

「まことの保育第32回全国保育大会」が福山にて開催

2019(令和元)年7月27日(土)・28日(日)の2日間、福山ニューキャッスルホテルを会場に、専如ご門主様ご臨席のもと、「浄土真宗本願寺派まことの保育第32回全国保育大会」を備後教区保育連盟担当にて開催された。全国各地より、493名の参加者、宗派御一行、役職者来賓等併せて



▲研修会場・福山ニューキャッスルホテル内の様子

総勢517名の皆様とともに学び、また交流親睦を深める機会となった。

1日目、開会式では、神辺千鶴幼稚園の園児の皆さんとともに幼児のおつとめをし、参加者皆で「私たちのちかい」を唱和いたしました。その後、専如ご門主よりお言葉をいただき、高輪真澄保育連盟理事長のご挨拶、大会会長より歓迎のご挨拶があった。

また、式中に永年勤続表彰式を行い、園長・設置者・施設長勤続30年以上対象者7名、職員勤続30年以上対象者5名、職員勤続20年以上対象者15名、職員勤続10年以上対象者27名、それぞれ代表者1名に登壇いただき、山下義円保育連盟副会長より表彰状及び記念品を授与いただいた。

開会式後の基調講演では、武蔵野大学学長 西本照真先生に「みほとけさまのこどもになつて」と題し講演をいただいた。ご自身が武蔵野大学付属幼稚園で園長としておられたときのお話をお聞きし、保育現場における宗教的情操

教育の必要性について多くの諭えを用いながら分かりやすくお話いただいた。

記念講演では、京都造形芸術大学文相哲学研究所准教授・齋藤亜矢先生に「絵筆をもったチンパンジー」絵を描く心の進化と発達」と題し講演をいただいた。進化の過程でヒトはなぜ絵を描くようになったのか、チンパンジーとの描画行動の比較から見えてきた違いや子どもたちの絵がどのような発達していくのか、子どもたちの芸術的想像力や可能性について映像も交えながらお話いただいた。

夕食交流会では、尾道で活動しているしまなみジュニアオーケストラの皆さまにご出演いただき、小さなバイオリンを肩におき演奏する子どもの姿にこころ温まるひと時を過ごした。また、備後教区を知ってもらうため、教区内各地の名産品を揃えたお楽しみ抽選会を開催した。和やかな雰囲気の中、参加者各々親睦交流を深めた。

2日目は、朝のおつとめの後、藤間幹夫本願寺派布教使より、ま

ことの保育の根本であるあみださまのおこころを分かりやすくお話いただいた。

特別講演では、安芸教区佐伯西組大龍寺坊守、シンガーソングライターとしても活躍されている二階堂和美先生より、「音楽と仏教」をテーマに自らの子育てエピソードも交えながらお話しいただいた。先生の心洗われるような歌声に感動を覚えた。

閉会式では、大会実行委員長より御礼のご挨拶の後、次回2021年の全国大会引き受け教区となる岐阜教区保育連盟・近藤利尊理事長よりご挨拶をいただき、大会の全日程を終了した。

備後教区は、加盟園11園と全国的にみても小規模教区となる。全国大会引き受けにあたっては、会場キャパシティ、大会スタッフ確保の問題等、不安材料を抱えたスタートとなったが、企画準備段階から大会当日まで、各園の先生方の積極的な参画のおかげもあり、大きなトラブルもなく盛会のうちを終えることができた。

※16ページに写真掲載

News & 活動情報



差別表記について

同朋三者懇話会

「同朋三者懇話会の歩みに学ぶ基礎講座」を、4月23日(火)に本願寺備後教堂にて開催した。講師に真宗大谷派大泉寺比後孝住職をお迎えし、「親鸞聖人にとっての『王舎城の人々の物語』の中心課題とは―「是旃陀羅」の持つ意味―と題して講義をいただいた。經典の差別語表記について、どのように向き合っていくか、考える機会となった。

姜曉艶さんをお招きして

寺 婦

寺族婦人会連盟(藤井慈委員長)は、去る5月8日(水)、若婦人研修会を開催し54名の参加があった。この度の研修会は世羅組担当

にて明善寺を会所に開催した。研修の講師に二胡奏者の姜曉艶さんをお招きし、「若い人へ〜二胡で奏でる慈しみの心〜」と題し講演をいただいた。講演中は実際に二胡の演奏もあり、美しい二胡の音色を聞きながら、参加者一同和やかなひと時を過ごした。



お寺、仏教の魅力を発信

仏 青

5月19日(日)、尾道市万福寺を会場に備後教区仏教青年連盟主催によるOTERACE HOUSE(教区のつどい)を開催した。

この企画は、すでにお寺とご縁のある青年の方ももちろん、ご縁のなかった方にお寺の魅力・仏教の魅力を発信する場として、また、人と人とのご縁づくりを目的として開催し、募集人数40名(男性20

名、女性20名)のところ定員を超えてご参加頂いた。

非行に走る少年の諸問題

更正保護

本派更生保護事業協会備後教区支部の総会・研修会を6月13日(木)に開催

した。『非行少年の心の闇〜子どもたちに関する諸問題〜』をテーマに、非行に走る少年達の諸問題について、樋口雅明先生(広島少年鑑別所地域非行防止調整官)よりご教示頂いた。



▲樋口雅明先生

総会・研修会

寺 婦

去る6月5日(水)、寺族婦人会連盟(藤井慈委員長)は総会・研修会を備後教堂にて開催し、65名が参加した。午前中の総会では、

議長進行のもと前年度事業決算の報告、本年度事業計画、予算について審議され、出席者より承認された。

午後からの研修会では、安芸教区広陵西組善法寺坊守 前田純代先生にお越しいただき、「ただいま入院中」と題し、参加者と同じ境遇である坊守としての立場から、ご自身の経験も交えわかりやすくお話いただいた。



▲前田純代坊守

公開講座を開催

ビハーラ

6月18日(火)、ビハーラ備後の総会及び公開講座を開催した。総会では、昨年度のビハーラ備後の振り返り、そして今年度の活動

報告を行った。

午後の公開講座では、山本耕嗣本願寺派布教使(福山市西公民館館長・紙芝居師)より「母の病と死をご縁として」をご講題に、阿弥陀様にお任せし、共に人生を生きぬかせていただく出遇いをご縁として、ご法話をいただいた。



▲山本耕嗣布教使

夏期布教大会開催

布教団

6月20(木)日に備後教区布教団研修会並びに総会、21日(金)には夏期布教大会を開催した。
講師に、本願寺派司教・内藤昭文和上(大分教区下毛中組法行寺住職)をお招きして、初日に講義

と二日目にお取次ぎをいただいた。夏期布教大会出講者(敬称略)

苜屋光影(深津組光行寺)
田井智彦(備中里組蓮乗寺)
栗原一乘(世羅組浄楽寺)
那須英信副団長(沼隈南組善正寺)



▶内藤昭文和上



法要執行にあたって

勤式

6月24日(月)、「法要の組み立て方」をテーマに前期勤式研修会を開催した。
講師に本願寺の邊春真乗会役員にお越しいただき、参加者は、法要を執行するにあたり、会奉行・会係としてご縁をいただいた際の

注意点、差定作成時の留意点を学ぶ研修会となった。



▲邊春真乗会役員

同朋講座開催

同朋社会部

6月27日(木)、「同朋講座」を本願寺備後教堂において開催した。講題「日本の精神医療は特殊である―共に生きる社会を目指して―」につ



▶野田正彰先生

いて、野田正彰先生(精神科医)より諸外国との比較を交えながらご教示頂いた。

教区月報 2019

4月	教堂常例法座
11日	少年連盟連絡協議会(安芸)
12日	仏婦総会・幹部研修会(ロズコム)
14日	仏壮総会・研修会
16日	同朋社会部会
17日	現地緊急災害対策本部会議
19日	布教団団長・副団長会議
23日	更生保護小理事會
25日	同朋三者懇話会の歩みに学ぶ基礎講座
5月	法式法務専門委員会
7日	門信徒部会
8日	寺婦若婦人研修会(世羅組明善寺)
9日	おとめ教室・勤式練習會
10日	保育連盟総会全体會
11日	平和のつどい小実行委員会
13日	教区実践運動事業検討委員会
16日	布教団役員會
17日	教堂常例法座
17日	ビハーラ備後役員會
17日	教区実践運動総会・全体會
17日	ご縁づくり推進委員会
17日	少年連盟役員會

に開催し、教区内仏壮会員や、所属寺住職など、109名が参加した。講師に安芸教区布教団・寺西



▲寺西龍象副団長

龍象副団長(安芸教区呉東組真光寺住職)にお越しいただき、「聞くところを慶び 獲るところを歎ずるなり」と題し講義を午前午後といただいた。

仏壮連盟は次年度全国大会の引き受けが決まっており、実行委員会を立ち上げ、種々準備が進められている。ともに学び、全国大会に向け改めて教区内の結束を深める実りある研修会となった。

実践学習を開催

ビハーラ

7月31日(水)、ビハーラ花の

里病院にて、ビハーラ備後実践学習を開催した。実践学習に先立ち、看護師の方から熱中症とその対策についての学習会を受講した。その後、各病棟に分かれて15分を目安とした居室訪問を行った。居室訪問では、利用者の方々へ聴き手としての寄り添いを中心に、実践学習を行った。居室訪問後は、利用者の方々と一緒に、法話会にてお聴聞の時間をいただいた。

会長挨拶

備龍会会長 山下 瑞円

(奥組 浄福寺)

第24代会長を拝命しました奥組浄福寺山下瑞円です。新入会員6名を迎え、現在63名で活動しています。今までの良き伝統を継承しつつ、若手僧侶ならではの視点で、今後も企画・行事などに取り組んで参ります。随時会員を募集していますので、45歳以下の教区内僧侶の方、どうぞお気軽にご入会下

さい。

4年後が当会発足より50周年という節目の年となります。教区内ご寺院の皆様、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌



24日	前期勤式研修会
25日	寺院振興対策委員会 組長会
26日	仏婦連絡協議会(〜27日 四州教区)
27日	同朋講座 合同学習会
28日	第四連区門推連絡協議会 (〜29日 四州教区)
7月	---
1日	連区布教使研修会(〜2日山口)
2日	布教団連絡協議会(山口)
3日	ひとは人権問題現地学習会 中四国少年ブロック研修会 (〜4日 安芸教区)
5日	おつとめ教室・勤式練習会
9日	ご縁づくり委員会
10日	平和のつどい実行委員会 (西部市民センター)
11日	教堂常例法座
12日	青年布教大会(三次組圓勝寺) 7月豪雨一周忌法要
16日	ビハーラやすらぎ講座 (安芸教区)
17日	仏壮全国大会行事部会議 (三次組 源光寺)
18日	全国保育大会実行委員会
19日	少年連盟指導者研修会
21日	少年連盟総会 仏壮夏期研修会

備龍会 DRAGON JOURNAL

新体制がスタート

- 会長 奥 組浄福寺 山下 瑞円
 副会長(広報部) 神石 組法泉寺 川上 順之
 副会長(研修部) 沼隈西組正圓寺 石川 知全
 副会長(交流活動推進部) 沼隈西組大東坊 那須 智雄
 事務局局長 世羅 組正満寺 島津 恵航
 会計 御調東組永正寺 柿原 興乗

広報部

広報部は、ホームページやフェイスブックを通して様々な情報発信を行います。主な内容としては、会員のコラム、お寺日和、活動レポート、各種案内などです。僧侶と一般の方との接点は多くないのが実状です。そのため、広報部ではホームページを活用することによって多くの方と接点を持ち、僧侶や浄土真宗を身近に感じていただけるような活動をしてまいりたいと考えています。是非、備龍会ホームページにアクセスしてみてください。

備龍会公式ホームページ
<http://biryukai.net/>

研修部

研修部の主な活動は、仏教教養講座・連続研修会「やさしく学ぶ正信偈」の開催、研修旅行の企画です。仏教教養講座では多方面でご活躍されているご講師のお話を機縁として多くの方に仏縁を結んで頂き、多角的な視点から仏教の深みを味わって頂ければと画策しております。「やさしく学ぶ正信偈」は、龍谷大学教授 玉木興慈先生をお招きし、時間をかけて丁寧にご解説頂いております。皆様、お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。



交流活動推進部

野球部・フットサル部では、年に1度開催される全国大会での優勝を目指す活動の中で、会員同士の親睦交流を図ります。春には親善スポーツ大会を企画し、教区内寺族・僧侶・関係者の親睦を深めます。また月に1度、施設へ訪問し奉仕活動(法話など)を行ない、会員の研鑽にも繋げていきます。

当会では、以上教区内での交流にとどまらず、他教区との交流の橋渡しなど、様々な形で貢献していきたいと考えています。



11日	10日	9日	7日	5日	4日	2日	9月	30日	29日	27日	22日	21日	20日	11日	7日	6日	1日	8月	31日	30日	27日	25日	22日	
教室常例法座	連研のための研究会	合同学習会	第4連区仏壮連盟連絡協議会(8日 四州)	合同学習会	ご縁づくり推進委員会	法務専門委員会	世界仏婦大会(9/5)	門推全体会	崎五島列島	布教団研修旅行(28日長)	合同学習会	公聴会	第22回真宗講座	教室常例法座	門推世話人会	仏婦役員会	合同学習会	ビハラ花の里病院実践学習	仏婦世界大会説明会	(28日ニューキャッスルホテル)	まことの保育全国保育大会(26日安芸教区)	矯正教化総会	連区所長議長組長代表会(安芸教区)	(三谿組立泉寺)

得度許可

おめでとう
ございます
〔敬称略〕

深津組 正福寺

廣田 一心(釋一心)

御調束組 尊光寺

武田 道俊(釋道俊)

(平成31年3月15日付)

沼隈西組 善立寺

内海 一恵(釋一華)

(令和元年6月15日付)

教師授与

おめでとう
ございます
〔敬称略〕

芦田組 西教寺

長 光寿(釋光寿)

(平成31年3月28日付)

沼隈南組 善正寺

那須 英裕(釋英裕)

(令和元年7月24日付)

敬申

お悔やみ申し
上げます
〔敬称略〕

奥組 善教寺 前坊守

高下 都 (6月5日寂)

芦田組 西教寺 前住職

長 徽州 (6月27日寂)

備中里組 高運寺 前坊守

塩田 恒江(9月7日寂)
沼隈南組 寶福寺 前坊守
延廣 久恵(10月1日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

奥組 善教寺様

より香典返礼を頂きました。

会館休館日

左記の期間、教務所業務を
休みます。

12月28日(土) ~
1月6日(日)

※死亡届は組長さんを通し
て本山にお届けください。

県庁(所轄庁)へ
の提出書類はお済
ですか?

常例法座案内

本願寺備後教堂(毎月11日)

出講者(敬称略)

11月 「まことの言葉に会う」

芦田組 西法寺

亀山 照枝

12月 「臨終は幕開け!」

三次組 西覺寺

伊川 大慶

1月 『他力』故のお救い

沼隈西組 正圓寺

石川 知全

2月 「私の中の仏 仏の中の私」

三谿組 正法寺

小武 秀道

3月 「泥の中の華」

三次組 専正寺

深水 顕真



少子・高齢・過疎化社会とは、
単に人口が少なくなるという話で
はありません。たとえば、教育・
福祉・介護・地域づくり・防災な
どについて、これまでのように専

『教区報』の編集にあたり、皆様のご
意見や感想、情報の提供をお待ち
しています。教区報専門委員会まで、
ご一報ください。

TEL (084) 924-5759
fax (084) 931-9323

メールアドレス
h2012@bingo.gr.jp
ホームページアドレス
http://bingo.gr.jp/

門家・専門職・団体役員に任せて
すむという時代は終わりました。
また、単なる評論家で終わっては
なりません。一人ひとりが地域の
主人公となって取り組むこと。そ
れぞれの得意分野を持ち寄って地
域を担っていく。このような大転
換を意味しています▲各教化団体
の活動が、単に寺院を支えるとい
う狭い範囲にとどまるのではな
く、地域や次世代へと波及効果が
広がることを思い描きながら、取
り組みたいと思っています。さら
に、その根底に、「本当はどうあ
りたいか」と自らに問い、阿弥陀
さまの願いにたずねていく営みを
大切にしたいと思います。
(K.K)

まことの保育 第32回 全国保育大会 (備後教区引き受け)



▲備後教区スタッフ (教区内 11 園にて全国大会の運営をおこないました)



▲夕食懇親会の様子 (福山ニューキャッスルホテル)

第16回世界仏教婦人会大会教区回参

4年に1度開催される世界仏教婦人会大会が、ご門主ご臨席のもとサンフランシスコ市マリオットマーキスを会場に開催され、北米・カナダ・ハワイ開教区及び日本から総勢約1500名の仏教婦人が集った。日本からは約700名の参加があった。備後教区からの参加者26名は、サンフランシスコ仏教会訪問やラスベガス観光等を含め、6泊8日の行程で団参を組み、充実した時間を過ごした。



▶シンガーソングライター 二階堂和美坊守



▲武蔵野大学・西本照真学長



▲京都造形芸術大学 齋藤亜矢准教授



▲藤間幹夫布教使 (深津組光明寺)



▲サンフランシスコ仏教協会



▲大会会場マリットマーキス